

(様式第9)

東邦大病第21-38号
平成21年10月1日

厚生労働大臣 長妻 昭 殿

開設者名 学校法人 東邦大学
理事長 炭山嘉伸

東邦大学医療センター大森病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成20年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	105.25人
--------	---------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	232人	156人	372.4人	看護業務補助	44人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	3人	1人	3.9人	理学療法士	6人	臨床検査技師	88人
薬剤師	50人	1人	50.9人	作業療法士	4人	衛生検査技師	0人
保健師	272人	0人	272.0人	視能訓練士	2人	その他	0人
助産師	46人	1人	46.4人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	648人	18人	657.2人	臨床工学技士	14人	医療社会事業従事者	6人
准看護師	8人	2人	9.7人	栄養士	5人	その他の技術員	24人
歯科衛生士	4人	0人	4.0人	歯科技工士	0人	事務職員	94人
管理栄養士	12人	0人	12.0人	診療放射線技師	43人	その他の職員	56人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	841人	3人	844人
1日当たり平均外来患者数	2,314人	38人	2,352人
1日当たり平均調剤数	入院988.2剤	外来377.5剤	

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

1 先進医療の届出受理の有無及び取扱い患者数

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・○無	0人
膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション(前十字靭帯損傷又は後十字靭帯損傷に係るものに限る。)	有・○無	0人
凍結保存同種組織を用いた外科治療(心臓弁又は血管を用いるものであって、組織の凍結保存及び外科治療を同一施設内で行うものに限る。)	有・○無	0人
胎児心超音波検査(産科スクリーニング胎児超音波検査において心疾患が強く疑われる症例に係るものに限る。)	○有・無	5人
インプラント義歯(顎骨の過度の吸収により、従来の可撤性義歯では咀嚼機能の回復が困難なものに限る。)	有・○無	0人
顎顔面補綴(腫瘍手術、外傷及び炎症その他の原因により顔面領域に生じた広範囲の実質欠損に係るものに限る。)	有・○無	0人
顎関節症の補綴学的治療(顎関節症(顎関節内障、下顎頭の著しい変形及び顎関節円板の断裂を除く。)に係るものに限る。)	有・○無	0人
経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法(神経の障害による運動麻痺又は骨・関節手術後の筋萎縮に係るものに限る。)	有・○無	0人
人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・○無	0人
光学印象採得による陶材歯冠修復法(歯冠部齲蝕の修復に係るものに限る。)	有・○無	0人
経皮的レーザー椎間板減圧術(内視鏡下によるものを含み、椎間板ヘルニアに係るものに限る。)	有・○無	0人
造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定(白血病、悪性リンパ腫又は多発性骨髄腫その他の造血器悪性腫瘍に係るものに限る。)	有・○無	0人
スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法(手術が予定されている者で、悪性高熱症が強く疑われる者に係るものに限る。)	有・○無	0人
CTガイド下気管支鏡検査(肺腫瘍に係るものに限る。)	有・○無	0人
先天性血液凝固異常症の遺伝子診断(アンチトロンビン欠乏症、第Ⅶ因子欠乏症、先天性アンチトロンビンⅢ欠乏症、先天性ヘパリンコファクターⅡ欠乏症又は先天性プラスミノゲン欠乏症に係るものに限る。)	有・○無	0人
筋強直性又は筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・○無	0人
SDI法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有・○無	0人
三次元形状解析による顔面の形態的診断(頭蓋、顔面又は頸部の変形性疾患に係るものに限る。)	有・○無	0人
HDRA法又はCD-DST法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん(根治度Cの胃がんを除く。)、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有・○無	0人
子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断(子宮頸部軽度異形成に係るものに限る。)	有・○無	0人
腹腔鏡下肝部分切除術(肝外側区域切除術を含み、肝腫瘍に係るものに限る。)	有・○無	0人
悪性腫瘍に対する陽子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有・○無	0人
エキシマレーザーによる治療的角膜切除術(角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る。)	有・○無	0人
成長障害のDNA診断(特発性低身長症に係るものに限る。)	有・○無	0人
門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術(内視鏡的治療若しくは薬物治療抵抗性の食道静脈瘤又は胃静脈瘤、門脈圧亢進症性胃腸症、難治性腹水又は難治性肝性胸水に係るものに限る。)	有・○無	0人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術(主に乳房温存手術が可能なステージⅠ又はⅡの乳がんに係るものに限る。)	有・〇無	0人
声帯内自家側頭筋膜移植術(一側性反回神経麻痺又は声帯溝症に係るものに限る。)	有・〇無	0人
骨髄細胞移植による血管新生療法(閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の治療法に抵抗性のもので、フォンタン分類Ⅲ度又は同分類Ⅳ度のものに限る。))に係るものに限る。)	有・〇無	0人
ミトコンドリア病のDNA診断(高乳酸血症その他のミトコンドリア機能低下が疑われる疾患に係るものに限る。)	有・〇無	0人
鏡視下肩峰下腔徐圧術(透析アミロイド肩関節症又は腱板断裂、五十肩若しくは関節リウマチその他の原因による肩インピンジメント症候群に係るものに限る。)	有・〇無	0人
神経変性疾患のDNA診断(ハンチントン舞踏病、脊髄小脳変性症、球脊髄性筋萎縮症、家族性筋萎縮性側索硬化症、家族性低カリウム血症性周期性四肢麻痺又はマックリード症候群その他の神経変性疾患に係るものに限る。)	有・〇無	0人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術(再発翼状片、角膜上皮欠損(角膜移植によるものを含む。)、角膜穿孔、角膜化学腐食、角膜癒着(ステイブンス・ジョンソン症候群、眼類天疱瘡、熱・化学外傷癒着その他の重症の癒着性角結膜疾患を含む。)、結膜上皮内過形成又は結膜腫瘍その他の眼表面疾患に係るものに限る。)	有・〇無	0人
重粒子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有・〇無	0人
脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術(原発性脊椎腫瘍又は転移性脊椎腫瘍に係るものに限る。)	有・〇無	0人
31P—磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断(糖尿病性足病変危険群と考えられる糖尿病患者に係るものに限る。)	有・〇無	0人
神経芽腫のRNA診断	有・〇無	0人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療(腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊椎管狭窄症又は腰椎手術の実施後の腰下肢痛(保存治療に抵抗性のものに限る。))に係るものに限る。)	有・〇無	0人
重症BCG副反応症例における遺伝子診断(BCG副反応症例又は非定形抗酸菌感染で重症、反復若しくは難治である場合に係るものに限る。)	有・〇無	0人
骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体窒素処理骨移植	有・〇無	0人
膵腫瘍に対する腹腔鏡補助下膵切除術(インスリノーマ、脾動脈瘤、粘液性嚢胞腫瘍、膵管内腫瘍その他の膵良性腫瘍に係る膵体尾部切除又は核出術に限る。)	有・〇無	0人
低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断(マントル細胞リンパ腫の補助診断として用いるものに限る。)	有・〇無	0人
悪性脳腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・〇無	0人
Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断(急性期又は慢性期のQ熱に係るものに限る。)	有・〇無	0人
エキシマレーザー冠動脈形成術(経皮的冠動脈形成術(エキシマレーザー冠動脈形成術を除く。))による治療が困難なもの、慢性完全閉塞のもの又はこれに準ずるものに係るものに限る。)	有・〇無	0人
活性化Tリンパ球移入療法(原発性若しくは続発性の免疫不全症の難治性日和見感染症又は慢性活動性EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有・〇無	0人
家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・〇無	0人
膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術(膀胱尿管逆流症(国際分類グレードⅤの高度逆流症を除く。))に係るものに限る。)	有・〇無	0人
三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療	有・〇無	0人
泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術(泌尿生殖器腫瘍のリンパ節転移例又は画像上リンパ節転移が疑われるものに係るものに限る。)	有・〇無	0人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植(HLA適合ドナーがないために造血幹細胞移植が受けられない小児のがん、難治性造血障害又は免疫不全症に係るものに限る。)	有・○無	0人
頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによるCT透視下の経皮的椎間板減圧術(頸椎椎間板ヘルニア(画像診断上椎間板繊維輪の破綻していないヘルニアであって、神経根症が明らかであり保存治療に抵抗性のもの(後縦靭帯骨化症、脊椎管狭窄状態又は脊椎症状のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・○無	0人
ケラチン病の遺伝子診断(水疱型魚鱗癬様紅皮症又は単純型表皮水疱症その他の遺伝子異常に係るものに限る。)	有・○無	0人
隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・○無	0人
末梢血単核球移植による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・○無	0人
末梢血単核球移植による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・○無	0人
一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術(双胎間輸血症候群に罹患した一絨毛膜性双胎妊娠の症例(妊娠十六週から二十六週に限る。))に係るものに限る。)	有・○無	0人
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法(肺がん又は気管支前がん病変に係るものに限る。)	有・○無	0人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断(ウィルソン病、メンケス病又はオクシピタルホーン症候群に係るものに限る。)	有・○無	0人
超音波骨折治療法(四肢の骨折(治療のために手術中に行われるものを除く。))のうち、観血的手術を実施したもの(開放骨折又は粉碎骨折に係るものを除く。))に係るものに限る。)	○有・無	0人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法(ヘリコバクター・ピロリ感染を伴う胃潰瘍又は十二指腸潰瘍に係るものに限る。)	有・○無	0人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存(骨又は靭帯の再建術であって、先天性疾患、外傷性(欠損性又は感染性偽関節に係るものに限る。)、骨腫瘍切除後、関節固定術時若しくは人工関節置換術時(初回又は再置換術時に限る。))の広範囲骨欠損、脊椎固定術時の骨融合促進又は靭帯断裂による関節不安定性に係るものに限る。)	有・○無	0人
X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術(難治性根尖性歯周炎であって、通常の根管治療では効果が認められないもの)に係るものに限る。)	有・○無	0人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価(骨粗鬆症、骨変形若しくは骨腫瘍又は骨腫瘍掻爬術後若しくは骨髄炎掻爬術後の症状に係るものに限る。)	有・○無	0人
膀胱水圧拡張術(間質性膀胱炎に係るものに限る。)	○有・無	3人
色素性乾皮症に係る遺伝子診断	有・○無	0人
先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断	有・○無	0人
歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法(歯周炎による重度垂直性骨欠損に係るものに限る。)	有・○無	0人
セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術(人工股関節のたるみに係るものに限る。)	有・○無	0人
腹腔鏡下直腸固定術(直腸脱に係るものに限る。)	有・○無	0人
骨移動術による関節温存型再建(骨軟部腫瘍切除後の骨欠損に係るものに限る。)	有・○無	0人
肝切除手術における画像支援ナビゲーション(原発性肝がん、肝内胆管がん、転移性肝がん又は生体肝移植ドナーに係るものに限る。)	有・○無	0人
樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法(腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍(食道がん、胃がん又は大腸がん)、進行再発乳がん又は原発性若しくは転移性肺がんに係るものに限る。)	有・○無	0人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有・〇無	0人
自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有・〇無	0人
リアルタイムPCRを用いた迅速診断(EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有・〇無	0人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術(尿管腫瘍、膀胱腫瘍、後腹膜腫瘍、後腹膜リンパ節腫瘍(精巣がんから転移したものに限る。))又は骨盤リンパ節腫瘍(泌尿器がんから転移したものに限る。))に係るものに限る。)	有・〇無	0人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術(白内障に係るものに限る。)	有・〇無	0人
先天性難聴の遺伝子診断(遺伝性による先天性難聴が疑われるものに限る。)	有・〇無	0人
フェニルケトン尿症の遺伝子診断(フェニルケトン尿症、高フェニルアラニン血症又はピオプテリン反応性フェニルアラニン水酸化酵素欠損症に係るものに限る。)	有・〇無	0人
培養細胞による先天性代謝異常診断(先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))に罹患する可能性の高い胎児もしくは新生児又は先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))が疑われる小児に係るものであって、酵素補充療法による治療が出来ないものに限る。)	有・〇無	0人
腹腔鏡下子宮体がん根治手術(手術進行期分類I b期までの子宮体がんに係るものに限る。)	有・〇無	0人
培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	有・〇無	0人
RET遺伝子診断(甲状腺髄様癌に係るものに限る。)	有・〇無	0人
角膜ジストロフィの遺伝子解析(角膜ジストロフィと診断された症例に係るものに限る。)	有・〇無	0人
強度変調放射線治療(限局性の固形悪性腫瘍(頭頸部腫瘍、前立腺腫瘍又は中枢神経腫瘍であって、原発性のものを除く。))に係るものに限る。)	有・〇無	0人
マイクロ波子宮内膜アブレーション(機能性及び器質性過多月経(ただし、妊孕性の温存が必要な場合又は子宮内膜がん、異型内膜増殖症その他の悪性疾患又はその疑いがある場合を除く。))であって、子宮壁厚十ミリメートル以上の症例に係るものに限る。)	有・〇無	0人
抗EGFR抗体医薬投与前におけるKRAS遺伝子変異検査(EGFR陽性の治癒切除不能な進行又は再発の結腸又は直腸がんに係るものに限る。)	有・〇無	0人
光トポグラフィー検査を用いたうつ症状の鑑別診断補助(ICD-10(統計法第二十八条及び附則第三条の規定に基づき、疾病、傷害及び死因に関する分類の名称及び分類表を定める件(平成二十一年総務省告示第七十六号)の「(1) 疾病、傷害及び死因の統計分類基本分類表」に規定する分類をいう。))においてF2(統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害)に分類される疾病及びF3(気分(感情)障害)に分類される疾病のいずれかの疾病の患者であることが強く疑われるうつ症状の者(器質的疾患に起因するうつ症状の者を除く。))に係るものに限る。)	有・〇無	0人
内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術(下肢慢性静脈不全症(下腿の広範囲の皮膚に色素沈着、硬化若しくは萎縮が起こり、又は潰瘍を有するとともに、超音波検査により穿通枝の血液が逆流していることが確認され、かつ、従来の外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・〇無	0人
歯科用CAD・CAMシステムを用いたハイブリッドレジンによる歯冠補綴(小臼歯の重度の齶蝕に対して全部被覆冠による歯冠補綴が必要な場合に限る。)	有・〇無	0人
大腸腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術(早期大腸がん(EMR(内視鏡的粘膜切除術をいう。以下同じ。))では一括切除が困難な二センチメートル以上の病変であって、拡大内視鏡診断又は超音波内視鏡診断による十分な術前評価の結果、根治性が期待できるものに限る。))又は腺腫(EMRを実施した際の病変の挙上不良なもの又はEMRを実施した後に遺残又は再発したものであってEMRでは切除が困難な一センチメートル以上の病変のものに限る。))に係るものに限る。)	有・〇無	0人
実物大臓器立体モデルによる手術支援(骨盤、四肢骨又は関節に著しい変形又は欠損を伴う疾患又は外傷に係るものに限る。)	有・〇無	0人
無拘束型多点感圧シートセンサを用いた検査(閉塞性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる症状(習慣性がある激しいいびき、日中の傾眠等をいう。))及び所見(肥満、薬物療法に対して抵抗性を有する高血圧等をいう。))が認められる者又は中枢性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる慢性心不全の者に係るものに限る。)	有・〇無	0人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術(頸部良性腫瘍に係るものに限る。)	有・○無	0人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・○無	0人
腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術(転移性脊椎骨腫瘍、骨粗鬆症による脊椎骨折又は難治性疼痛を伴う椎体圧迫骨折若しくは臼蓋骨折に係るものに限る。)	有・○無	0人
悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	○有・無	33人
カフェイン併用化学療法(骨肉腫、悪性線維性組織球腫、滑膜肉腫又は明細胞肉腫その他の骨軟部悪性腫瘍に係るものに限る。)	有・○無	0人
胎児尿路・羊水腔シャント術(プルーン・ベリー症候群その他の胎児閉塞性尿路疾患に係るものに限る。)	有・○無	0人
筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療(ジストニア、痙性麻痺その他の局所の筋過緊張を呈する病態に係るものに限る。)	有・○無	0人
胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(胸部悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・○無	0人
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(腎悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・○無	0人
内視鏡下甲状腺がん手術(手術の実施後、予後の良い甲状腺乳頭がんに係るものに限る。)	有・○無	0人
骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法(転移性骨腫瘍で既存の治療法により制御不良なもの又は類骨腫(診断の確実なものに限る。))に係るものに限る。)	有・○無	0人
下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法(一次性下肢静脈瘤に係るものに限る。)	有・○無	0人
胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術(特発性又は既知の胎児先天性感染による胸水を主たる徴候とする非免疫性胎児水腫症(NIH)例であって、胸腔穿刺後一週間以降に胸水の再貯留が認められるもの(妊娠二十週から三十四週未満に限る。))に係るものに限る。)	有・○無	0人
早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・○無	0人
副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法(二次性副甲状腺機能亢進症に係るものに限る。)	有・○無	0人
腹腔鏡補助下肝切除術(部分切除及び外側区域切除を除く。)	有・○無	0人
根治的前立腺全摘除術における内視鏡下手術用ロボット支援(前立腺がんに係るものに限る。)	有・○無	0人
内視鏡下手術用ロボットを用いた冠動脈バイパス手術(虚血性心疾患に係るものであって、一箇所を吻合するものに限る。)	有・○無	0人

(注)1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	29人	・モヤモヤ病(ウイルス動脈輪閉塞症)	11人
・多発性硬化症	18人	・ウェゲナー肉芽腫症	0人
・重症筋無力症	22人	・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	70人
・全身性エリテマトーデス	167人	・多系統萎縮症	15人
・スモン	1人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	0人
・再生不良性貧血	20人	・膿疱性乾癬	1人
・サルコイドーシス	33人	・広範脊柱管狭窄症	3人
・筋萎縮性側索硬化症	33人	・原発性胆汁性肝硬変	29人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	83人	・重症急性膵炎	14人
・特発性血小板減少性紫斑病	39人	・特発性大腿骨頭壊死症	32人
・結節性動脈周囲炎	19人	・混合性結合組織病	22人
・潰瘍性大腸炎	73人	・原発性免疫不全症候群	4人
・大動脈炎症候群	7人	・特発性間質性肺炎	8人
・ビュルガー病	12人	・網膜色素変性症	20人
・天疱瘡	4人	・プリオン病	2人
・脊髄小脳変性症	10人	・原発性肺高血圧症	39人
・クローン病	36人	・神経線維腫症	3人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	1人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・悪性関節リウマチ	26人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	1人
・パーキンソン病関連疾患	24人	・特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型)	4人
・アミロイドーシス	0人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	1人
・後縦靭帯骨化症	33人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・ハンチントン病	0人		

(注)「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	○ 1. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。		
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	月 8 回程度		
剖 検 の 状 況	剖検症例数	57 例	剖検率 5.7 %

1. 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
虚血性心疾患における心電図同期SPECT (QGS) 国内臨床データベース作成のための調査研究-2	山崎 純一	循環器内科	100	委託 循環器病研究振興財団
関節リウマチにおけるアディポサイトカインの臨床的意義	川合 真一	膠原病科	1,500	補助 文部科学省
感染症・免疫難病における治療技術の開発	川合 真一	膠原病科	2,000	補助 文部科学省
日本臨床薬理学会認定制度を基本とした臨床研究体験型教育プログラムの開発研究	川合 真一	膠原病科	1,000	補助 厚生労働省
難治性疾患の医療費構造に関する研究	川合 真一	膠原病科	800	補助 厚生労働省
特発性肺線維症の予後改善を目指したサイクロスポリン+ステロイド療法並びにNアセチルシステイン療法に関する臨床研究	本間 栄	呼吸器内科	200	補助 厚生労働省
びまん性肺疾患に関する調査研究	本間 栄	呼吸器内科	400	補助 厚生労働省
インフルエンザ (H5N1) の死因となる急性肺障害 (ARDS) の病態解析とモデル動物作製に関する研究	本間 栄	呼吸器内科	1,500	補助 厚生労働省
ANCA関連血管炎の本邦・欧州間での臨床疫学調査および診断薬と治療薬開発に関する研究	本間 栄	呼吸器内科	100	補助 厚生労働省
特発性肺線維症合併肺癌におけるFDG-PETの有用性の検討	磯部和順	呼吸器内科	2,000	委託 財団法人喫煙科学研究所 委託 厚生労働省生活衛生局
家庭用品に使用され、人の健康に関わる化学物質の試験	伊藤 正俊	皮膚科	536	委託 厚生労働省生活衛生局
生殖補助技術 (ART) が児の遺伝子発現におよぼす影響に関する研究	片桐 由起子	産婦人科	2,000	補助 財団法人おぎや一献金基金
低出生体重児用ミルクと消化管機能に関する研究	宇賀 直樹	新生児科	1,600	委託 糧食研究会
ダイオキシンの乳幼児への影響その他の汚染実態の解明に関する研究	宇賀 直樹	新生児科	500	補助 厚生労働省
全国規模の多施設共同ランダム化比較試験と背景因子分析に基づく早産予防ガイドラインの作成	宇賀 直樹	新生児科	300	補助 厚生労働省
重症川崎病患者に対する免疫グロブリン・ステロイド初期併用投与の効果を検討する前方視的無作為化比較試験	佐地 勉	小児科	75,099	補助 厚生労働省
小児等の特殊患者に対する医薬品の製剤改良その他有効性及び安全性の確保のあり方に関する研究	佐地 勉	小児科	1,100	補助 厚生労働省
血管炎治療のためのエボクローナルグロブリン製剤の開発と安全性確保に関する研究	佐地 勉	小児科	500	補助 厚生労働省
難治性疾患克服研究事業 特発性造血障害に関する研究	小原 明	小児科	1,000	補助 厚生労働省
家庭用品危害情報制度 小児科モニター病院	小原 明	小児科	200	補助 厚生労働省
ヒト精子幹細胞の同定及び機能解析	小林 秀行	泌尿器科	500	補助 文部科学省
精神科医療の機能強化に関する調査研究事業 急性期ケアの効果と医療経済分析	水野 雅文	精神神経科	10,600	補助 厚生労働省
統合失調症の未治療期間とその予後に関する疫学的研究	水野 雅文	精神神経科	12,000	補助 厚生労働省
統合失調症の前駆期における発症予防と介入可能性についての検討	水野 雅文	精神神経科	1,950	補助 文部科学省
ARMS青年への大学病院での介入に関する研究	水野 雅文	精神神経科	430	補助 文部科学省
片頭痛の診断・治療ガイドラインの標準化とその検証に関する研究	端詰 勝敬	心療内科	60	委託 厚生労働省
摂食障害の疫学、病態と診断、治療法、転帰と予後に関する総合的研究	坪井 康次	心療内科	50	委託 厚生労働省
統合失調症の前駆期における発症予防と介入可能性についての検討	水野 雅文	精神神経科	1,500	補助 文部科学省
内視鏡とナビゲーションシステムを使用する耳科手術	枝松 秀雄	耳鼻咽喉科	500	補助 内視鏡医学研究振興財団
女性生殖器における妊孕能の客観的な評価法の確立	堀 正明	放射線科	1,000	補助 厚生労働省
平成20年度私立大学戦略的研究基盤形成支援事業	渋谷 和俊	病院病理部	2,000	補助 文部科学省
千葉大学真菌医学研究センター共同利用研究費	渋谷 和俊	病院病理部	300	補助 文部科学省
新興・再興感染症研究事業「深在性真菌症と輸入真菌症に関する新しい検査法と抗真菌薬の開発並びに病院因子の解明に向けたポストゲノムの基盤的研究」	渋谷 和俊	病院病理部	2,400	補助 厚生労働省
難治性疾患克服研究事業「特定疾患微生物学的原因究明に関する研究」	渋谷 和俊	病院病理部	2,500	補助 厚生労働省

2 論文発表等の実績

所属名	論題名	著者	発表誌名等
総合診療科	Extensive Atrophic Gastritis Increase Intraduodenal Hydrogen Gas	瓜田 純久	Gastroenterology Research and Practice 2008 Article ID 584929 4P
総合診療科	長期飲酒卵巣摘出ラットにおける酢酸代謝に関する影響	瓜田 純久	医学 2008 ; 18 : 18-19
総合診療科	アルコール摂取、卵巣摘出による酢酸吸収・代謝への影響	渡辺 利泰	消化と吸収 2008 ; 2 : 14-19
総合診療科	高齢者における消化吸収能の変化	瓜田 純久	老年消化器病20 : 57-62,2008
総合診療科	High prevalence of gastro esophageal reflux symptoms in patients with both acute and nonacute cough	瓜田 純久	J General med 2008:1:1-5
総合診療科	Changes in a gastric air bubble linked to gastro esophageal reflux symptoms	渡辺 利泰	J Breath Res 2008:2:037024
総合診療科	Breath hydrogen and methane levels in a patient with volvulus of the sigmoid colon	瓜田 純久	J Breath Res 2008:2:037025
総合診療科	Nizatidine Improves Impaired Salivary Secretion in GERD	瓜田 純久	Clin Med Case Report 2008 ; 1:113-117
総合診療科	Extensive atrophic gastritis linked to increased levels of intraluminal hydrogen gas	瓜田 純久	Hepato- gastroenterology 55: 1645-1648,2008
総合診療科	Saliva transit from the oral cavity to the esophagus in GERD	日毛 和男	Hepato- gastroenterology 55: 4-7 2008
総合診療科	Breath hydrogen aga concentration linked to intestinal gas distribution and malabsorption in patients with small-bowl pseudo-obstruction	瓜田 純久	Biomarker Insights 4: 9-15,2009
総合診療科	水の硬度による酢酸吸収の変化	瓜田 純久	消化と吸収 31 : 60-64,2008
総合診療科	Is the metabolism of toast alcohol beverages influenced by a meal taken five minutes later?	瓜田 純久	Jpn J Alcohol Drug Dependence 44:94-100,2009
総合診療科	Gastric bubble is associated with age, body mass, and dyspeptic symptoms	瓜田 純久	Medimomd S,Bologna,307-312,2008
総合診療科	Possible association between GERD and coronary heart diseases. Is there non GERD heartburn ?. Mendez eds.	瓜田 純久	Medimomd S,Bologna,313-317,2008
総合診療科	Effect of rebamipide , mosapride , and risperidone on salivary secretion induced by pilocarpine	瓜田 純久	Medimomd S,Bologna,301-205,2008
総合診療科	Acute cough linked to GERD symptoms as well as chronic respiratory diseases	瓜田 純久	Medimomd S,Bologna,295-300,2008
総合診療科	Bacterial fermentation in the upper gastrointestinal tract	瓜田 純久	5 th YAKULT Shirota Conference 90-96,2008
総合診療科	grandmother as Source of Helicobacter pylori Infection	瓜田 純久	Medimomd S,Bologna,33-38,2009
総合診療科	Serum Pepsinogen levels and H.pylori Infection in Children	瓜田 純久	Medimomd S,Bologna,27-32,2009
総合診療科	Effect of Ethanol Exposure Beginning at an Early Age on Acetate Metabolism	瓜田 純久	Medimomd S,Bologna,137-142,2009
総合診療科	Removal of Ovarian Hormones Affects the Aging Process of Acetate Metabolism	瓜田 純久	Medimomd S,Bologna,143-150,2009
消化器内科	内視鏡的膵管ステント留置術の適応と実際	五十嵐 良典	臨床消化器内科

所属名	論題名	著者	発表誌名等
消化器内科	内視鏡的切除術を施行した十二指腸乳頭部カルチノイドの1例	澤 美里	Gastroenterol Endosc
消化器内科	Change of cytokines in cirrhosis patients with advanced hepatocellular carcinoma treated by intra-arterial chemotherapy	永井 英成	Cancer Chemother Pharmacol
消化器内科	Relationship of peripheral blood CD4-positive T cells to carcinogenesis in patients with HCV related chronic hepatitis and liver cirrhosis	松井 哲平	Cancer Chemother Pharmacol
消化器内科	Th1/Th2 balance: an important indicator of efficacy for intra-arterial Chemotherapy	永井 英成	Cancer Chemother Pharmacol
消化器内科	Therapeutic Strategy of Advanced Hepatocellular Carcinoma by Using Combined Intra-arterial Chemotherapy	永井 英成	Recent Patentson Anti-Cancer Discovery
消化器内科	肝癌治療における40mmメーターCoAccess14G 外筒針付き展開型電極の使用経験	和久井 紀貴	医学と薬学
消化器内科	原発性肝細胞癌におけるCull-tip type 10mmメーター電極針を用いたラジオ波焼灼療法の試み	和久井 紀貴	東邦医学会雑誌
消化器内科	肝臓の超音波診断 -最近の知見-Sonazoid造影 USを用いたパラ眼トリックイメージによる肝疾患の評価	和久井 紀貴	東邦医学会雑誌 56(2):171-177,2009
消化器内科	造影超音波検査による肝細胞癌(HCC)の分化度診断の試みとラジオ波焼灼療法(RFA)への応用	和久井 紀貴	東邦医学会雑誌 55(3):100-102,2008
消化器内科	Sonazoid R 造影超音波検査での高エコー結節の評価法 特にTACE後の残存部位確定のために	和久井 紀貴	Rad Fun 6(10) 36-39,2008
消化器内科	慢性間疾患の血流から何が見える?	住野 泰清	映像情報 Med 40:510-515,2008
循環器内科	Integrating Cardiology for Nuclear Medicine Cardiac	藤本 進一郎	Adrenergic Imaging 381-388,2008
循環器内科	Molecular imaging of matrix metalloproteinase in atherosclerotic lesions:resolution with dietary modification and stain therapy	藤本 進一郎	J Am Coll Cordial 52:1847-1857,2008
循環器内科	Molecular imaging for efficacy of pharmacologic intervention in myocardial remodeling matrix metalloproteinase in atherosclerotic lesions:resolution with dietary modification and statin therapy	藤本 進一郎	JACC Cardiovasc Imaging 2:187-198,2009
循環器内科	basic fibroblast growth factor inhibits ventricular remodeling in Dahl salt-sensitive hypertensive rats.	鈴木 健也	Journal of hypertension 268:2436-2444
循環器内科	心血管イベント予測頸動脈雑音の聴診が有用	並木 温	MMJ 4(11):924-925
循環器内科	低血圧を改善しよう	並木 温	月間・ヘルシートク (275) 4-9
循環器内科	ACME:Angioplasty Compared to Medicine	並木 温	日本臨床 増刊号 423-426
循環器内科	Anchor Balloon Technique for Very Tortuous Lesions by Transradial Coronary Intervention	我妻 健司	Indian Heart j, Supply A:A42-44,2008

所属名	論題名	著者	発表誌名等
循環器内科	未破裂巨大瘤を合併した冠動脈瘤の1例	佐藤 秀之	J Cardiol Jpn Ed,vol.2 No1:69-73,2008
膠原病科	Safety of long-term tacrolimus therapy for rheumatoid arthritis : an open-label uncontrolled study in non-elderly patients	川合 真一	Mod Rheumatol 2008 18(4):345-353
膠原病科	Clinical value of second and third generation assays of anti-cyclic citrullinated peptide antibodies in rheumatoid arthritis	北原 加奈子	Ann Rheum Dis 2008 67(7) 1059-1060
膠原病科	Safety profile of tacrolimus in patients with rheumatoid arthritis	秋本 貴美子	Clin Rheumatol 2008 27(11):1393-1397
膠原病科	Study of active controlled tocilizumab monotherapy for rheumatoid arthritis patients with an inadequate response to methotrexate(SATORI) : significant reduction in disease activity and serum vascular endothelial growth factor by IL-6 receptor inhibition	Nishimoto N	Mod Rheumatol 2009 19(1):12-19
血液腫瘍科	剖検にて診断された血管内大細胞型B細胞リンパ腫の2例	長瀬 大輔	臨床と研究
血液腫瘍科	malignant lymphoma and Schistosoma japonica infection	名取 一彦	Br J Haematol
血液腫瘍科	IgD myeloma indicated by plasma cells in the peripheral blood and massive pleural effusion	名取 一彦	Ann Haematol
血液腫瘍科	化学療法施行後に末梢性顔面神経麻痺を発症した非ホジキンリンパ腫の2例	名取 一彦	日本化学療法学会雑誌
神経内科	Propranolol hydrochloride による一次性労作性頭痛の予防効果 : indometacin との比較	池田 憲	神経治療学 25 (5) 605-608
神経内科	Donepezil hydrochloride の高用量投与により過活動性膀胱を呈したAlzheimer型認知症の1例	池田 憲	神経治療学 25 (5) 609-612
神経内科	L-DOPA治療中のParkinson 病患者にみられた幻覚に対する抑肝散の効果	藤岡 俊樹	神経治療学 26 (1) 55-59
神経内科	片頭痛発作に対するテルミサルタンの予防効果 -塩酸ロメシリン無効例での検討-	池田 憲	神経内科 68 (3) 2008
神経内科	人間ドックを介したParkinson病の調査 -生活習慣病の対比研究-	池田 憲	神経内科 68 (2) 2008
神経内科	脱力を伴った片頭痛の経過中に脳梗塞を併発した1例	池田 憲	神経内科 68 (5) 2008
神経内科	脳ドックにおける髄膜腫の偶発頻度と臨床放射線学的検討	池田 憲	BRAIN and NERVE 60(3) 2008.3
神経内科	神経内科疾患に独特な 脳・脊髄MR画像	池田 憲	日本医事新報 No4417

所属名	論題名	著者	発表誌名等
神経内科	脳血管性疾患のMR画像：非侵襲的な画像診断	池田 憲	日本医事新報 No4373
神経内科	Diagnostic pitfalls in sporadic familial amyloid polyneuropathy(TTR-FAP)	池田 憲	Neurology70:1576-1577,2008
神経内科	Nonpostural headache in spontaneous intracranial hypotension	川瀬 裕士	Headache 48:641,2008
神経内科	A case of Vernet syndrome with varicella zoster virus infection	鈴木 裕乃	J Neuro Sci 271:47-52,2008
神経内科	Gout and risk of Parkinson disease : a prospective study	川辺 清一	J Neuro Sci 270:209-210,2008
神経内科	Vertigo,dizziness,and syncope in migraine	岩崎 泰雄	Neurology 71:70,2008
神経内科	Atorvastatin treatment attenuates neuromuscular disease in wobbler mice	川辺 清一	Headache 48:973-974,2008
神経内科	Levetiracetam protects spinal motor neurons from glutamate mediated neurotoxicity	池田 憲	Ann Neurol 64 (suppl 12) : S46,2008
神経内科	Beneficial effect of pramipexole for motor function and depression in Parkinson's disease	岩崎 泰雄	Ann Neurol 64 (suppl 12) : S46,2008
神経内科	Amantadine for migraine	川瀬 裕士	Headache 48:1380,2008
血液腫瘍科	尿崩症を併発した旧制骨髄性白血病の2例	名取 一彦	臨床と研究
血液腫瘍科	胸郭破壊浸潤した膿胸関連悪性リンパ腫	名取 一彦	臨床と研究
血液腫瘍科	乳癌と骨髄異形性症候群よりなる重複癌を併発したWerner症候群の1例	名取 一彦	臨床と研究
血液腫瘍科	非ホジキンリンパ腫の寛解導入療法後の早期に治療関連白血病を発症した1例	名取 一彦	臨床と研究
血液腫瘍科	急性腹症で発症した小腸原発悪性リンパ腫	名取 一彦	臨床と研究
血液腫瘍科	VincristineとInraconazole による重篤な薬物相互作用を来した急性リンパ性白血病の1例	長瀬 大輔	日本化学療法学会雑誌
呼吸器内科	肺高血圧症を合併した特発性肺線維症の臨床的検討	杉野 圭史	日呼ケアリハ学誌
呼吸器内科	慢性呼吸器疾患に合併した肺高血圧症に対するSildenafil の有用性	杉野 圭史	臨床呼吸生理

所属名	論題名	著者	発表誌名等
呼吸器内科	組織学的再構築を行った骨髄移植後の閉塞性細気管支炎(BO)の病理学的検討 - 関節リウマチに合併したBOとの比較 -	杉野 圭史	Therapeutic Research
呼吸器内科	閉塞型睡眠時無呼吸低呼吸症候群患者におけるインスリン抵抗性の臨床的検討	高井 雄二郎	日呼ケアリハ学誌
呼吸器内科	急性上気道閉塞	高井 雄二郎	日本臨床別冊呼吸器症候群 I : 622-625,2008
呼吸器内科	日本人は睡眠時無呼吸症候群になりやすい	高井 雄二郎	病の起源 49-51,2009
消化器外科	直腸癌治療における最近の進歩	寺本 龍生	東邦医学会雑誌
消化器外科	Laparoscopy-assisted Hepatectomy for Giant HCC	金子 弘真	Endoscopy & percutaneous Technique
消化器外科	Application of levies for reb laparoscopies keratectomy	金子 弘真	HPB(Oxford)
消化器外科	肝臓領域腹腔鏡下肝部分切除術	金子 弘真	臨床外科
消化器外科	高齢者肝細胞癌に対する腹腔鏡下肝切除術	大塚 由一郎	老年消化器病
消化器外科	手技の解説 PTEG経皮経食道胃管挿入術	鷲澤 尚宏	Gastroenterol Endoscopy
脳神経外科	Effect of head inclination on cerebral blood flow assessment using 3D-SSP	狩野 利之	J Jpn Soc Simulationsurg 15:95-101 . 2008
脳神経外科	Usefulness of dynamic thallium-201 SPECT in differentiation of favor recurrence from variation necrosis	周郷 延雄	J Jpn Soc Simulationsurg 16:89-93 . 2008
脳神経外科	Usefulness of dynamic 201Tl SPECT for differential diagnosing of ring enhancing brain tumor	原田 正幸	J Jpn Soc Simulationsurg 17:7-12 . 2008
脳神経外科	Usefulness of Neuro navigator for interhemispheric approach to anterior communicating arteries : Application for dissecting and reconstruction of the frontal sinus	周郷 延雄	J Jpn Soc Simulationsurg 16:101-105 . 2008
産婦人科	The reduction in pigment epithelium-derived factor is a sign of malignancy in ovarian cancer expressing low-level of vascular endothelial growth factor.	土屋 雄彦	Gynecol Endocrinol 2009 Feb 25(2):104-9 IF 1.169
産婦人科	The role of Mac-1 (CD11b/CD18) in osteoclast differentiation induced by receptor activator of nuclear factor- κ B ligand	土屋 雄彦	FEBS Letters 582(2008) 3243-3248 IF 3.263
産婦人科	Day 3 SET における移植胚の選択に関する検討	塩川 素子	日本受精着床学会雑誌 26 (1) : 136-141 2009
産婦人科	単一胚移植周期における臨床成績と多胎妊娠の検討	渡辺 慎一郎	日本受精着床学会雑誌 26 (1) : 294-298 2009
産婦人科	卵巣容積と臨床成績の検討	福田 雄介	日本受精着床学会雑誌 26 (1) : 333-335 2009

所属名	論題名	著者	発表誌名等
産婦人科	生殖医療におけるAntimullerian Hormone 値およびInhibin Bと採卵数及び臨床成績の相関について	宗 晶子	日本受精着床学会雑誌 26 (1) : 336-340 2009
産婦人科	術前化学療法が奏功した支給頸部扁平上皮癌の2例	高野 博子	日本産科婦人科学会東京地方部会誌 57巻4号 560-564 (2008.12)
産婦人科	癒着胎盤を示唆する全置胎盤を合併した無脳児妊娠症例および産科対応に関する検討	蓮田 奈保子	日本産科婦人科学会関東連合地方部会誌 45巻4号 319-322 (2008.11)
産婦人科	着床期特異的蛋白glycodelin による子宮内膜腺上皮細胞の増殖機能制御	太田 邦明	日本生殖内分泌学会雑誌13巻き 43-47 2008.9
産婦人科	子宮内膜細胞の増殖により腫瘍形成し、非産褥性子宮内反症を生じた1例	土屋 雄彦	エンドメトリオーシス研究会誌 29 126-129 2008.7
産婦人科	低用量ダナソール療法による子宮腺筋症性疼痛に対する有用性の検討	中熊 正仁	エンドメトリオーシス研究会誌 29 109-112 2008.7
産婦人科	卵巣チョコレート嚢胞に対する腹腔鏡下嚢胞摘出術施行時の工夫	内出 一郎	エンドメトリオーシス研究会誌 29 72-75 2008.7
産婦人科	子宮内容清掃術時に肺出血をきたした1例	片桐 由起子	日本産科婦人科学会東京地方部会誌 57巻3号 409-413 2008.9
産婦人科	高齢ART施行症例に対する臨床成績の検討	片桐 由起子	日本受精着床学会雑誌25巻 1号 207-210 2008.3
産婦人科	血清 α フェトプロテインが高値を示した上皮性悪性卵巣腫瘍の1例	石原 優子	日本産科婦人科学会東京地方部会誌 57巻2号 214-220 2008.6
産婦人科	子宮筋腫に対する腹腔鏡下子宮筋腫核出術	森田 峰人	東邦医学会雑誌 55巻3号 218-222 2008.5
産婦人科	当科における全腹腔鏡下子宮全的術 (TLH)の現状と術式の工夫	中熊 正仁	日本産科婦人科学会東京地方部会誌 57巻1号 8-12
産婦人科	【周産期臨床検査のポイント】基本的な検査 胎盤異常の検査	前村 俊満	周産期医学38巻増刊 185-189 2008.12
産婦人科	【子宮内膜症治療の最前線 症状に応じた治療戦略】 【「痛み」に対する治療】 子宮内膜症疼痛に対する手術療法	内出 一郎	臨床婦人科産科62巻11号 1434-1437 2008.11
産婦人科	卵巣チョコレート嚢胞に対する腹腔鏡下嚢胞摘出術のコツ	森田 峰人	産科と婦人科 75巻6号 746-748 2008.6
形成外科	急性創傷 特殊部位の急性創傷の診断と治療 四肢のデグロービング損傷	丸山 優	形成外科
形成外科	【創傷治癒プライマリ・ケアで対処できる多種多様な”キズ”とその最新知見】 糖尿病性潰瘍	丸山 優	治療
形成外科	陳旧性顔面神経麻痺に対する笑いの再建；当施設における術式の選択	林 明照	Facial N Res Jpn
形成外科	口角下垂に対するmuscle bow traction 法による再建の経験	林 明照	頭頸部癌
形成外科	Mohs法による皮膚悪性腫瘍自壊部の出血コントロール	荻野 晶弘	日形会誌
形成外科	【切開とアプローチの基本戦略】手術手技別の切開とアプローチ 内視鏡手術の切開とアプローチ法	大西 清	PEPARS

所属名	論題名	著者	発表誌名等
形成外科	【整形外科手術に役立つ皮弁とそのコツ】有茎皮弁 足の皮弁 後脛骨動脈皮弁	澤泉 雅之	Orthopedics
形成外科	3次元頭蓋顔面骨データベース構築におけるテンプレート変形処理の改良	新谷 幹夫	日本ユビシテリヤソ外科学会会誌
形成外科	褥瘡の陰圧閉鎖療法ーbFGF製剤併用の治療経験ー	室 孝明	薬理と治療
形成外科	Lengthening temporalis myoplasty の術後合併症に関する検討	酒井 敦子	Facial N Res Jpn
形成外科	Proliferating pliomatricoma:a subset of pliomatricoma	酒井 敦子	J Plast Recomstr Anestht Surg
精神神経科	心の病の早期発見・早期治療へむけて	水野 雅文	心と社会39:98-102;2008
精神神経科	再発予防をめざしてー脆弱性ストレスモデルー	水野 雅文	みんなねっと12(4):22-25,2008
精神神経科	早期介入のための診断 ② 操作的方法	小林 啓之	Schizophrenia Frontier 9:19-24,2008
精神神経科	統合失調症の予防と早期介入	森田 桂子	精神科臨床サービス 8:170-173,2008
精神神経科	統合失調症	片桐 直之	こころの科学 139:102-107,2008
精神神経科	統合失調症ー再発脆弱性トレジエンスに基づく再発予防の試み	辻野 尚久	臨床精神医学37(4):387-394,2008
精神神経科	インターネットを利用した精神障害の早期発見・早期治療 DUI(Duration of Untreated Illness, 疾病の未治療期間)を短縮するために	水野 雅文	精神科治療学23:579-586,2008
精神神経科	Clinical practice and research activities for early psychiatric intervention at Japanese centers	水野 雅文	Early Intervention in Psychiatry 3:5-9,2009
精神神経科	精神疾患の早期発見と早期治療	水野 雅文	神経誌 110(6):501-506,2008
精神神経科	精神疾患の早期発見・早期治療	水野 雅文	東邦医会誌55(4):337-342,2008
精神神経科	早期精神病に対する専門外来～ユースクリニック～	森田 桂子	精神科治療学23(9):1059-1064,2008
精神神経科	A self-reported instrument for prodromal symptoms of psychosis: Testing the clinical validity of the PRIME Screen-Revised (PS-R) in a Japanese	水野 雅文	Schizophrenia Research 106:356-362,2008
精神神経科	社会機能評価尺度(Social Functioning Scale:SFS)日本語版の作成および信頼性と妥当性の検討	水野 雅文	日本社会精神医学会雑誌17:188-196,2008
精神神経科	精神科診断と分類についてF2:統合失調症、失調症型障害および妄想性障害をめぐる諸課題	水野 雅文	精神科14(1):21-25,2009
精神神経科	統合失調症の予防と早期介入認知機能障害ーうつ病との比較における相違点と共通点Schizophrenia Frontier	水野 雅文	Schizophrenia Frontier 10(1):12-16,2009
精神神経科	一般身体科病棟において、多職種チームも出ると相互関係モデルを応用し治療し治療にあった高次脳機能障害の1症例	當間 実名雄	東京精神医学会誌 26(1):14-19,2008
精神神経科	成人期アスペルガー症候群図表視覚化によるセルフモニタリングが復職に有効であった1例	吉田 尚史	東京精神医学会誌 26(1):20-25,2008
心療内科	バイオフィードバック療法とリラクゼーションとの併用が奏功した片頭痛の一例	端詰 勝敬	バイオフィードバック研究 35巻1号
皮膚科	Polymorphism patterns in the promoter region of the MC1R gene are associated with development of freckles and solar lentiginos	橋本 由紀	J Invest Dermatol 128(6):1588-1591,2008
皮膚科	TWO Cases of Mercury Allergy	大橋 則夫	Journal of Environmental Dermatology and coetaneous Allegedly vol.2(6):171-181,2008

所属名	論題名	著者	発表誌名等
皮膚科	履き物による接触皮膚炎に対する生活指導	関東 裕美	皮膚病診療 30(5):567-573,2008
耳鼻咽喉科	人工内耳手術(成人と小児)	枝松 秀雄	ENTONI:59-66,2008
耳鼻咽喉科	外耳・中耳奇形の画像所見	枝松 秀雄	JOHNS:41-45,2008
救命救急センター	有機リン中毒治療による医療者二次被害	吉原 克則	日本救急医学会雑誌2009,2
放射線科	キアリ奇形	鈴木 賢一	Medical Practice
放射線科	脳・神経系の画像診断・疾患各論神経皮膚症候群	堀 正明	小児科診療
放射線科	磁気共鳴画像検査の基礎と臨床	堀 正明	検査と技術
放射線科	Mean diflusiuity, fractional anisotropy maps, and three dimensional white-matter tractography by diffusion tensor imaging, comparison between single shot fast spin echo and single-shot echophuar sequences at 1.5 Tesla	堀 正明	European J of Radiology
病院病理	病理組織検査	渋谷 和俊	Medical technology
病院病理	胆管炎と間質性腎炎で派生したIg G4関連硬化性疾患の1例	谷川 佳世子	診断病理
病院病理	非アスペルギルス性糸状感染症の動向と対策 ～接合菌症を中心として～	渋谷 和俊	深在性真菌症～ SFI Forum ～
病院病理	Pathephiological Study of Chronic Necrotging Pulumonarg Aspergillosis	杉野 圭史	Japan Journal of Intersections Diseases
病院病理	肺真菌症の新しい病理診断手法	篠崎 稔	日胸
病院病理	深在性真菌症の病態と病理組織学的特徴	大久保 陽一	日本臨床
病院病理	Aspergillosis	渋谷 和俊	Nippon Rinsho
病院病理	皮膚真菌症診療ガイド: これだけはしておきたい皮膚真菌症の知識 真菌症と病理	鈴木 琢	MB Derma
病院病理	糸状菌吸入による肺高血圧および血管構築改変の機序に関する解析	渋谷 和俊	厚生労働省 分担研究報告書
病院病理	ホルマリン固定パラフィン切片におけるFusarium属およびHistoplasma capsu latum の検出を目的としたPNAプローブを用いた In situ hybridization法の開発	渋谷 和俊	厚生労働省 分担研究報告書
臨床生理機能	術中モニタリング・マッピング	長尾 健樹	検査と技術 36(10) 1111-1118

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	事務部 鈴木 良昭
管理担当者氏名	医療情報管理センター 吉野 彰 総務課 小鍛冶いづみ

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		医療情報管理センター 病院日誌は総務課	ターミナルデジット方式にて分類
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	人事課	
	高度の医療の提供の実績	診療科及び総務課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	診療科及び総務課	
	高度の医療の研修の実績	診療科及び総務課	
	閲覧実績	医療情報管理センター	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	薬剤部及び医事課	
確規 保則 の第 9 状 条 の 2 3 及 び 第 1 条 の 1 1 各 号 に 掲 げ る 体 制	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	総務課及び医療安全管理部	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	総務課	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	総務課	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	総務課及び医療安全管理部	
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部	
医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部		

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第1条の11各号に掲げる体制確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	感染管理部
		院内感染対策のための委員会の開催状況	総務課
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染管理部
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染管理部
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	医療安全管理部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	医療安全管理部
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	臨床工学部
	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	臨床工学部及び中央放射線部	
	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	臨床工学部及び中央放射線部	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	事務部 鈴木 良昭
閲覧担当者氏名	事務部 小鍛冶 いづみ
閲覧の求めに応じる場所	個人情報管理室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0 件
閲覧者別	医師	延	0 件
	歯科医師	延	0 件
	国	延	0 件
	地方公共団体	延	0 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	46.5%	算定期間	平成20年4月1日～平成21年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数		15,222人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		13,049人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		6,257人
	D: 初診の患者の数		61,158人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

規則第9条の23及び第1条の11各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (7名)・無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (名)・無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有・無
<p>・所属職員：専任 (8)名 兼任 (11)名</p> <p>・活動の主な内容：</p> <p>1) 安全管理対策委員会・セイフティーマネージャー会議・部内会議の資料及び議事録の作成及び保存、その他会議の庶務に関すること</p> <p>2) 事故等に関する診療録や看護記録等への記載が正確かつ十分になされていることの確認及び指導に関すること</p> <p>3) 患者や家族への説明など事故発生時の対応状況についての確認及び事故等の原因究明が適切に実施されていることの確認及び指導に関すること</p> <p>4) 医療安全に係わる連絡調整に関すること</p> <p>5) 患者等からの苦情、相談に関すること 6) 院内巡視</p> <p>7) 安全管理研修会の企画・準備 8) その他医療安全対策の推進に関すること</p>	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有・無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<p>・指針の主な内容：</p> <p>総則</p> <p>1. ①趣旨②安全管理に関する基本的方針</p> <p>2. 用語の定義</p> <p>3. 組織および体制 ①組織および体制③医療安全管理部の設置④安全管理対策委員会⑤事故調査委員会</p> <p>4. 報告等に基づく医療に係る安全確保を目的とした改善方策 ①報告とその目的 ②報告に基づく情報収集 ③報告内容の検討等 ④安全管理のためのマニュアルの整備</p> <p>5. 医療安全管理のための研修 ①医療安全管理のための研修の実施 ②医療安全管理のための研修の実施方法</p> <p>6. 重大事故発生時の対応 ①救命措置の最優先 ②院長への報告など ③重大事故の当事者への対応 ④患者・家族への説明 ⑤関係省庁への報告 ⑥所轄警察署への異状死の届け出</p> <p>7. 患者さん・家族と医療従事者間の情報の共有</p> <p>8. 患者さん等からの苦情、相談への対応 ①患者さん等からの苦情、相談への基本的考え方 ②相談窓口の設置および業務等</p> <p>9. 本指針の見直し</p>	

⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年12回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1) インシデント及びアクシデントの実態の把握をその背景要因の分析と評価 2) 安全を確保するための具体策の策定と実施 3) 安全を確保するためのマニュアル作成と励行 4) 事故に至るヒューマンファクターの認識の向上をはかるための院内研修の実施 5) 他の病院における医療事故情報の収集とその要約の院内広報 6) 事故防止策の定期的な点検の実施と改善及び検証 	
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年9回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1) 病院全体研修（大橋病院での医療安全に対する取り組みを知る：6/25～26 実施 1585名） 2) 第1回 インフェクションコントロールセミナー（7/11 実施 196名） 3) 病院全体研修（感染予防・個人情報保護：11/25～26 実施 1,654名） 4) 安全管理研修（2/19 実施 113名） （クレーム・苦情対応とリスクマネジメント） 5) AED 研修（DVD 鑑賞）9月～実施 1333名） 6) 静脈注射研修（9/27 10/6・9・10 2/9・12 実施 665名） 7) CV インストラクター研修（12月・1月・2月実施 162名） 8) 平成20年度未研修者研修（3月～実施 30名） 9) 平成20年度新採用者研修（4月～実施 256名） 	
⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機関内における事故報告等の整備 （有 ・ 無 ） ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1) サインイン・サインアウト WG、虐待対策 WG・血管撮影後の DVT 予防 WG GE ガイドライン WG 立ち上げ 2) 医療安全マニュアル <ul style="list-style-type: none"> ・ 中心静脈カテーテル挿入に関するガイドライン作成 ・ 身体抑制に関する基準・手順の見直し ・ 手術患者・手術部位誤認防止マニュアルの見直し ・ 向精神薬取り扱い、毒薬・劇薬取り扱い要綱改訂 ・ 転倒・転落アセスメントシートの電子化 ・ 口頭指示マニュアルの見直し 3) 産科危機的出血ガイドラインの作成・緊急体制の構築 4) 安全管理対策委員会として、院内ラウンドの定期化及び医療安全管理部内での不定期院内巡視の実施 	

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	○有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： 「院内感染より患者及び医療従事者の身を守るために、手指消毒及び感染予防策を徹底させる」 	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容： 下記事項の審議及び承認 1) 院内感染予防の方策・実施・監視・指導に関すること。 2) 院内感染発生時の対応に関すること。 3) 職員の院内感染教育に関すること。 4) 感染管理部の運営、業務、活動に関すること。 5) その他院内感染予防及び対策に関すること。 6) 中央施設部門のICTラウンド、ICTラウンドの結果報告及び病院執行部への要望決定 	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年24回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： 全職種を対象に手洗い、感染予防策、消毒法、各種ケアにおける感染対策、ゴミ分別、微生物検査、抗菌薬適正使用、各種耐性菌等の重要感染症、など院内感染対策上重要と思われる事項について、講義・実技演習の双方による研修を行っている。 	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院における発生状況の報告等の整備（○有・無） ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 1) 新型インフルエンザのマニュアル作成・改定・周知のためのオリエンテーション（毎日当直ミーティング時に伝達）を徹底している。 2) 各病棟ICTラウンドを年2回実施。ラウンド前に自己調査表を提出してもらい、改善点や問題点を共有できるようにした。 3) 蓄尿人数の削減を各医局に働きかけている。 蓄尿カップをできるだけ一回ごと使用にするよう働きかけている。 	

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	○有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 7回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 処方オーダーリング・医薬品チェック機能研修 2) ハイリスク薬・インスリン治療 3) 抗癌剤調製・取扱いにおける留意点 4) 麻薬・向精神薬・毒薬の管理 5) 医薬品情報・副作用収集体制 6) 高カロリー輸液に関する留意点 7) 薬剤の基礎知識と管理 	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成 (○有・無)</p> <p>・ 業務の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 業務手順書の周知 2) 医薬品の管理 3) 患者に対する投薬指示 4) 患者に対する与薬 5) 医薬品の安全使用に係る情報 	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (○有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 厚生労働省医薬品安全性情報の周知徹底のため、ログオン画面に要約を掲載 2) プルセニドに薬効付記 (プレドニンとの取り違い防止のため) 3) 筋弛緩薬に薬効を付記 	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	○有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年28回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 輸液・シリンジポンプの操作、注意事項についての講義および実技指導 ・ 人工呼吸器の操作、注意事項についての講義及び実技指導 ・ 除細動器の操作、注意事項についての講義及び実技指導 ・ 閉鎖式保育器の操作、注意事項についての講義及び実技指導 	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画の策定 (○有・無) ・ 保守点検の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 外部委託（メーカー）定期保守：人工呼吸器、放射線治療装置、血液浄化装置 ・ 院内実施的保守：除細動器、人工心肺装置、血液浄化装置、輸液・シリンジポンプ 	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (○有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 経皮ペースティング機能付き除細動器の経皮ペースティング機能操作方法の説明 	